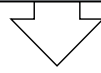


# 第 I 部 「物流と産業のシナジーによる地域経済発展サイクルの形成」の概要

物流コストの削減、3 P L（p55参照）の促進、中小企業のグローバル化、環境への貢献等を実現する物流機能強化策と、企業立地の促進及び独創性の高い産業の振興策が相乗効果を発揮し、地域経済発展のサイクルが生まれる。



## 第1章 物流拠点としての大阪の発展

### 都市の成り立ちに見る物流機能の発展

- ・大阪の物流機能は産業集積化の歴史と軌を一にして発展
- ・工場立地は産業用地を中心に順調に進む
- ・既存の中小工業集積地域の住工混在化が課題

### 国際的地位の低下を防ぎたいわが国港湾・海運

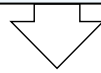
- ・スーパー中核港湾の取組が進む阪神港
- ・巨大な背後圏に支えられた内航海運・フェリー輸送
- ・特定貨物の拠点としての特色を発揮する府営港湾

### 競争の著しい陸上輸送

- ・モーダルミックス（p14参照）で見直されつつある鉄道貨物
- ・幹線道路間のネットワーク完成が急務
- ・サービスレベル見直し機運と環境対応待ったなしのトラック輸送

### 着実な発展を見せる空港・航空輸送

- ・関西国際空港の2期事業に高まる航空貨物への期待



## 第2章 大阪を取り巻く物流分野の諸課題

### 企業立地と物流の変化

- ・各種企業（物流・配送拠点、工場、商業施設）の進出が相次ぐ大阪湾臨海部
- ・内陸部では大規模用地の不足や操業環境の変化が課題
- ・企業の集中に伴う地域への影響を鑑みつつ、長期的な物流インフラ整備が必要

### 物流の広域化・地域間競争の激化

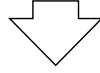
- ・域内量及び発量の減少、着量は増加
- ・工場等の流出や外注動向の変化、ICTによる物流効率化などが輸送量に影響か
- ・東京や愛知に比べて、大阪の貨物輸送は偏りが少ない
- ・地価の下落などを追い風に大阪湾臨海部に外資系の物流不動産ファンドが進出
- ・外資系フォワーダー（p41参照）の活発化と国内フォワーダー同士の連携

### 都市内物流の問題

- ・高い利便性の実現と道路渋滞、大気汚染、騒音などの問題
- ・都心部の再開発に伴う問題顕在化の恐れと解決策の必要性
- ・シティロジスティクス（p45参照）に向けた発想の転換と利害関係者の連携が重要

### 関西の物流機能の強み

- ・低炭素社会の構築に貢献しうる陸上輸送
- ・特色のある港湾が揃う海上輸送
- ・内海でリンクできる航空輸送



### 第3章 大阪に拠点を持つ大手企業の物流戦略

#### 物流業務とアウトソーシングの現状

- ・ 支払運賃や保管料などのコスト削減を考える企業が多い
- ・ 物流業務を外注する企業は7割を超えるが、3PLの動きは少ない
- ・ 外注企業には、低料金、現場作業の経験・ノウハウなどを求める

#### 今後の物流戦略の方向性と課題

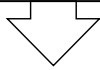
- ・ 今後はアウトソーシングが拡大する流れにあるも、個別業務が中心か
- ・ 外部委託の際、料金面やノウハウの蓄積、情報やシステムの共有化などが問題
- ・ 委託企業の選定には、低料金、現場作業の経験、難条件への対応などを重視
- ・ 外販比率が50%を超える物流子会社は1割程度
- ・ 今後5年間に、現状のまま存続する物流子会社は9割を超える

#### 物流拠点の変遷と立地戦略

- ・ 過去に物流拠点数や規模を減少・縮小した企業は、今後もその傾向が強い
- ・ アウトソーシング拡大の流れに伴い、拠点数の減少や規模縮小の動きは続く
- ・ 拠点立地に際して、コストの安さ、十分な面積などを重視

#### SCM (p72参照) と物流インフラの活用

- ・ SCMのレベルは自社内の最適化が多いが、上場企業の取組レベルは高い
- ・ SCMにより、在庫の適正化、リードタイム短縮、リスク削減などを実現
- ・ 企業立地促進策では、道路渋滞頻発区域の解消、規制緩和、環境対策などに高い関心



### 第4章 大阪における物流の未来図

#### 大阪の物流機能はどうあるべきか

ポイント：物流関連施策の全体像把握・整合性検討、企業の多様な取組支援、国内物流も国際物流の一部との認識、ハード・ソフトのバランス、環境対応のメリットに関する情報発信、成長有望分野から新たな物流ニーズ創出、ビジネスモデル創出促進。

##### (育てる)

- ・ 中小企業の物流効率化と物流機能強化への取組を喚起・支援
- ・ 連携によって中小企業の3PL事業を可能に
- ・ 物流人材の育成は長い取組が必要
- ・ 環境対応をプラス思考で

##### (使いやすくする)

- ・ 渋滞対策・アクセス向上の優先度が高い
- ・ 柔軟で戦略的な高速料金体系の設定についてより深い検討を
- ・ 港湾間競争では規模ではなく質の魅力で勝負
- ・ 2期事業推進による関西国際空港のさらなる利便性向上と抜本的な財務体質改善を
- ・ 国際化への対応を意識した国内物流機能の整備を

##### (産業振興・立地促進に資する)

- ・ 土地用途の継続性維持を最優先に
- ・ 成長有望分野は人的交流のしやすさと情報のインフラを重視
- ・ 災害に強い物流機能の構築

#### 物流関連施策の現状

- ・ 連携、協調を重視した国の施策・方針
- ・ 関西全域から見た大阪の役割が求められている
- ・ 大阪府の既存施策は環境面での自動車関連施策と立地促進施策の2つに集約